

東京・谷中で恒例「円朝まつり」

幕末から明治にかけて活躍した落語家、三遊亭円朝にちなむ「円朝まつり」が8月11日午前10時から、東京・谷中の菩提（ぼだい）寺、全生庵で開かれる。

円朝まつりは平成14年から毎年開催している落語協会所属の寄席芸人たちによる入場無料の「ファン感謝デー」。

円朝の法要、落語家が高座で使った扇子を供養するお焚き上げ、映画上映のほか、境内には扇子、手ぬぐい、落語家フィギュアなどの落語グッズ、食べ物や飲み物を芸人自身が売る屋台が30以上出店される。

有料（1500円）の奉納落語会は正午開演の第一部が三遊

亭歌る多ほか、午後3時15分開演の第二部が春風亭小朝、暁かしの出演。いずれも定員150人。はがきに住所、氏名、電話番号、希望公演（一部か二部か）、枚数を記入して〒110-0005東京都台東区上野1-9の5落語協会奉納落語会チケット係へ。25日消印有効。詳細は落語協会 ☎03・3833・8563、またはホームページ <http://www.rakugo-yokai.or.jp/> へ。

○円朝の手紙、自筆台本など展示 落語中興の祖といわれる三遊亭円朝の手紙、自筆台本などを紹介する「演芸資料展 江戸から明治へ」が、東京・隼町の国立演芸場・演芸資料展示室で開かれてい

る。9月20日まで。

江戸の資料では、多数の落語家の名前が見える団扇絵「今よふ姿」といった浮世絵、明治の資料では、3点の「落語家一覽表（番付）」など。円朝関係のものでは、図

PEANUTSコミック連載

ひもとくスヌーピーの50年

by SCHULZ
谷川俊太郎 訳

コミック

ルーシー、いくら機嫌が悪くてもスヌーピーに「犬コロ!」と言っちゃ、かわいそう。ルーシーを驚かせて、スヌーピーも気がすんだかな?



●ワンポイント/ひっかけてやったぞ!

=FAKED HER OUT!

英語版の全文は<http://www.snoopy.co.jp>で見られます

(1997年7月23日の作品より) ©

入りの台本「西洋人情咄」や台本「話之種」のほか、手紙「高橋様宛」が含まれている。入場無料。7月22、25、30、31日、8月21、22、25、30日休室。問い合わせは ☎03・3265・6300。